



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 松浦一慶 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	69,492	△15.7	4,310	△48.2	5,069	△41.5	3,576	△41.0
2020年3月期第1四半期	82,418	△1.5	8,325	△1.6	8,664	△10.3	6,065	△8.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,331百万円 (47.4%) 2020年3月期第1四半期 4,295百万円 (202.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.36	16.34
2020年3月期第1四半期	27.76	27.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	393,727	265,204	66.6
2020年3月期	405,131	260,358	63.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 262,256百万円 2020年3月期 257,217百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	11.00	—	10.00	21.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	11.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想については、本日(2020年7月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期第2四半期の連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	130,000	△20.4	7,000	△53.4	8,000	△50.1	5,500	△52.4	25.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想については、本日(2020年7月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。2021年3月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第2四半期(累計)の業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	237,075,556株	2020年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	18,515,547株	2020年3月期	18,515,473株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	218,560,064株	2020年3月期1Q	218,498,401株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は2020年7月31日(金)に証券アナリスト・機関投資家向け音声ライブ配信を行う予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2021年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を振り返りますと、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や米中関係の緊迫化など世界経済をめぐる懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は694億92百万円となり、前年同期に比べて129億26百万円の減収となりました。また、営業利益は43億10百万円と前年同期に比べて40億14百万円の減益、経常利益は50億69百万円と前年同期に比べて35億95百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億76百万円と前年同期に比べて24億90百万円の減益となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済悪化の影響を受けて、主要市場である自動車産業向けをはじめとして一般工業品用途向けも大幅に落ち込み、国内・輸出・海外子会社とも低調に推移した結果、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

合成ラテックス関連では、新型コロナウイルスの感染拡大により医療用手袋向けは販売が堅調に推移しましたが、化粧品材料や一般工業品用途などの大幅な需要減に加え、原料動向に連動した価格下落により、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

化成品関連では、接着剤用途向けを中心に新型コロナウイルスの影響を受けて需要が低迷し、世界的な市況の軟化と相まって、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は、前年同期に比べて99億81百万円減少し371億4百万円、営業損失は1億17百万円(前年同期は35億4百万円の営業利益)となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学樹脂、光学フィルムともに新型コロナウイルスの影響は軽微でしたが、高機能樹脂全体では売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

高機能ケミカル関連では、新型コロナウイルスの影響を受けてトナー及び電池材料は売上高、営業利益ともに前年同期を下回りましたが、電子材料及び化学品は売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。この結果、高機能ケミカル全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は、前年同期に比べて87百万円増加し223億45百万円、営業利益は前年同期に比べて2億44百万円減少し48億14百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を下回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は、前年同期に比べて30億20百万円減少し105億59百万円、営業利益は前年同期に比べて1億67百万円減少し2億22百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて114億4百万円減少し3,937億27百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少等によるものであります。

#### (負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて162億50百万円減少し1,285億22百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、仕入債務の減少等によるものであります。

#### (純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて48億46百万円増加し2,652億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点での入手可能な情報に基づいて予想値の算出が可能となったため、第2四半期（累計）の連結業績予想を公表いたします。なお、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な予想ができないため、引き続き「未定」とし、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

詳細については、本日（2020年7月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,029	25,873
受取手形及び売掛金	68,603	61,779
電子記録債権	2,729	2,594
商品及び製品	53,026	56,043
仕掛品	3,937	2,842
原材料及び貯蔵品	16,240	15,248
未収入金	30,018	26,309
その他	7,946	8,224
貸倒引当金	△81	△84
流動資産合計	214,447	198,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,123	40,818
機械装置及び運搬具(純額)	29,465	30,152
土地	18,268	18,437
建設仮勘定	22,573	21,572
その他(純額)	4,361	4,314
有形固定資産合計	114,791	115,292
無形固定資産		
その他	3,669	3,514
無形固定資産合計	3,669	3,514
投資その他の資産		
投資有価証券	62,118	68,004
繰延税金資産	2,713	855
その他	7,638	7,479
貸倒引当金	△245	△245
投資その他の資産合計	72,224	76,093
固定資産合計	190,684	194,900
資産合計	405,131	393,727

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,926	50,552
電子記録債務	2,765	2,407
短期借入金	10,960	10,960
未払法人税等	2,999	1,322
賞与引当金	1,919	268
修繕引当金	2,989	5,476
その他の引当金	45	33
その他	27,807	26,431
流動負債合計	112,410	97,449
固定負債		
社債	10,000	10,000
繰延税金負債	758	844
退職給付に係る負債	12,704	12,766
修繕引当金	1,638	311
その他の引当金	106	117
その他	7,156	7,036
固定負債合計	32,363	31,074
負債合計	144,773	128,522
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,252	19,152
利益剰余金	220,379	222,566
自己株式	△17,181	△17,181
株主資本合計	246,662	248,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,027	14,062
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	2,511	1,394
退職給付に係る調整累計額	△1,981	△1,947
その他の包括利益累計額合計	10,556	13,508
新株予約権	283	283
非支配株主持分	2,858	2,665
純資産合計	260,358	265,204
負債純資産合計	405,131	393,727

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	82,418	69,492
売上原価	58,499	50,292
売上総利益	23,919	19,200
販売費及び一般管理費	15,594	14,890
営業利益	8,325	4,310
営業外収益		
受取利息	53	29
受取配当金	760	719
為替差益	—	17
持分法による投資利益	50	28
雑収入	122	117
営業外収益合計	985	910
営業外費用		
支払利息	34	33
為替差損	465	—
休止固定資産減価償却費	62	41
雑損失	85	77
営業外費用合計	645	151
経常利益	8,664	5,069
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	—	89
特別利益合計	0	93
特別損失		
固定資産処分損	106	15
投資有価証券売却損	—	25
その他	23	18
特別損失合計	130	59
税金等調整前四半期純利益	8,535	5,103
法人税等	2,406	1,522
四半期純利益	6,129	3,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,065	3,576

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	6,129	3,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,083	4,035
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	180	△1,145
退職給付に係る調整額	25	34
持分法適用会社に対する持分相当額	46	△173
その他の包括利益合計	△1,834	2,750
四半期包括利益	4,295	6,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,188	6,519
非支配株主に係る四半期包括利益	107	△188

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	46,626	22,259	68,884	13,534	82,418	—	82,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	459	—	459	45	504	△504	—
計	47,085	22,259	69,343	13,579	82,922	△504	82,418
セグメント利益又は損失(△)	3,504	5,058	8,561	390	8,951	△626	8,325

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△626百万円は、セグメント間取引消去12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△638百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,721	22,333	59,054	10,438	69,492	—	69,492
セグメント間の内部売上高又は振替高	383	12	395	121	516	△516	—
計	37,104	22,345	59,449	10,559	70,008	△516	69,492
セグメント利益又は損失(△)	△117	4,814	4,697	222	4,919	△609	4,310

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△609百万円は、セグメント間取引消去20百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△629百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。